※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（専）家庭科

教科	（専）家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	LIFE　おとなガイド　デジタル＋（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭の生活に関わる手芸品について関心を持ち、積極的に取り組みましょう。

・身近な様々な手芸品に触れ、材質や構造、作り方を調べ、製作してみましょう。

・市販品と手作りとの比較、材質や工程、使い勝手のよいデザインにするための工夫を考え、オリジナルの作品を作りましょう。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）　手芸の種類と特徴及び変遷，各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（2）　手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し，手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（3）　手芸品の製作を目指して自ら学び，創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸の種類、特徴、各種手芸の技法などに関する知識を身に付けている。各種手芸の基礎的な技法を身に付けている。	各種手芸の技法を活用して、目的に応じた作品を製作し、創造力を働かせて手芸作品を製作し、服飾に活用する能力を身に付けている。	衣生活に関心をもち、その充実・向上を目指し意欲的に取り組むと共に、服飾に活用する実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎縫い	手縫いとミシン縫い	a:手縫いとミシン縫いの特徴と違いを理解している。手縫いとミシン縫いの基礎縫いができる。 b:手縫いとミシン縫いの特徴と違いの要点をまとめることができる。 c:手縫いとミシン縫いの特徴を活かした用途を調べるなど、情報を収集・整理しようとしている。	完成作品	完成作品	レポート プリント ワークシート 授業観察
	裁縫	袋製作	a:袋の構造を理解している。 b:袋を作る能力を身に付けている。 c:使いやすい大きさや材質を調べるなど、主体的に取り組もうとしている。			
2学期	織物	織物製作	a:織物の組織の種類と特徴を理解している。 b:織った布を活かした作品に仕上げることができる。 c:織物の組織の種類と特徴を調べ、織物を活かした作品に仕上げるために主体的に取り組もうとしている。	完成作品	完成作品	レポート プリント ワークシート 授業観察
	染色	染色　技法の種類	a:染色の種類や特徴、染色によって起こる布の変化を理解している。 b: 染色の種類や特徴を活かした作品を作ることができる。 c:染色の種類や特徴を調べ、感性に合う作品に仕上げるために主体的に取り組もうとしている。			
	刺しゅう	刺しゅう	a:刺しゅうの種類と特徴を理解している。 b:刺しゅうの種類や特徴を活かした作品を作ることができる。 c:刺しゅうの種類と特徴を調べ、デザインに応じた刺しゅうを仕上げるために積極的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	編物	編物　かぎ針製作 棒針製作	a:かぎ針と棒針の特徴や違いを理解している。かぎ針と棒針の基本的な編み方ができる。 b:かぎ針と棒針の特徴を活かした作品を作ることができる。 c: かぎ針と棒針の特徴を活かした用途を調べるなど、情報を収集・整理しようとしている。	完成作品	完成作品	レポート プリント ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度